



産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 27 日

島根県知事 丸山達也 殿

提出者

住 所 島根県浜田市長沢町185番地1

氏 名 株式会社山重組

代表取締役 藤本龍次

電話番号 0855-22-1824

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 山重組
事業場の所在地	島根県浜田市長沢町185番地1
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	2,000万円
③従業員数	12人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	再生処理業者に委託して再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
添付資料1管理体制図のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	添付2のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 各工事現場の廃棄物の排出の抑制に関して、できる限り廃棄物の発生はしないように努める。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	添付3のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記の内容を実施予定。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各工事現場の工程ごとに運搬・処理を委託しており、確実に分別するようにしている。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記の内容を実施予定。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	特に実施していません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	今後の予定はありません。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
実施はありません。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
今後の予定はありません。			

(第4面)

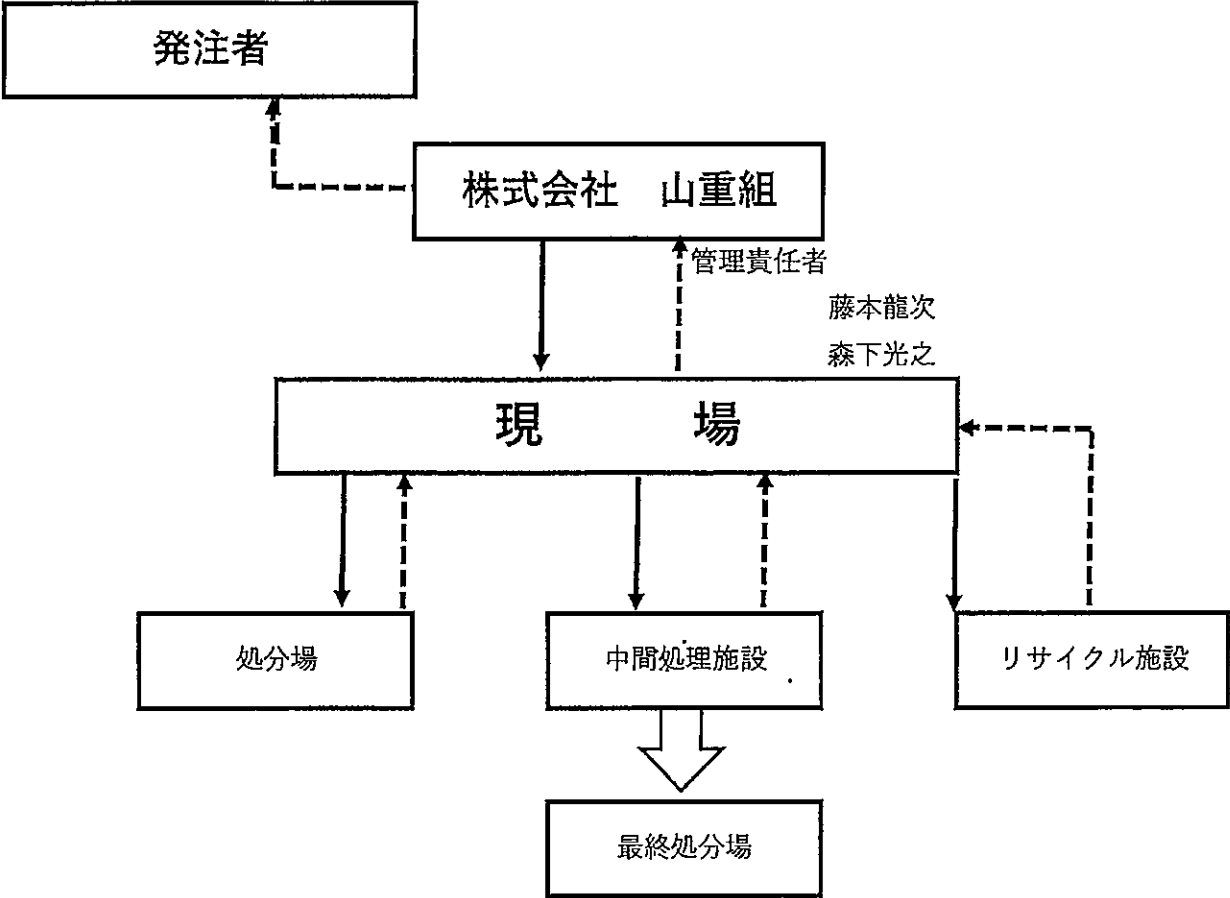
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	実施はありません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	今後の予定はありません。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 令和4年度 ）実績】		
	産業廃棄物の種類	添付2のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面 による契約を実施。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	添付3のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 再生利用が可能である廃棄物は、再生利用業者へ処理委託する。 可能な限り優良認定処理業者から選定する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

添付資料1 管理体制図



----->

報 告

----->

指 示

部 署	役 割
株式会社 山重組	産業廃棄物の発生から処分に至るまでの帳簿等を作成し統括的に管理
	処理業者の委託契約、委託量、委託伝票の管理
	産業廃棄物の適正処理等に関する社内啓発
	産業廃棄物の適正処理費用の算出
	委託料金の支払い及び処分業者管理
現 場	産業廃棄物の種類、発生量及び排出量の把握
	各現場の保管状況の点検
	各処分場の稼働状況の把握
	委託伝票の発行
	各処分場の処理状況の確認
	上記内容等を株式会社山重組に報告

		前年度の 産業廃棄物 抑制目標	令和4年度実施														
			①産業廃棄物 排出量	②自己直接 再生利用	③自己直接 埋立処分 又は 海洋投入量	④自己中間 処理量	⑤④のうち 熱回収を 行った量	⑥自己中間 処理残さず 埋立処分 又は 海洋投入量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自己中間 処理した後 再生利用 した量	⑨自己中間 処理後 埋立処分 又は 海洋投入量	⑩直接委託 及び自己処理 後委託処分量	⑪⑩のうち 優良認定処理 業者への処理 委託量	⑫⑩のうち 再生利用 業者への処理 委託量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処理 委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定業 者以外の熱回 収を行う業者 への処理 委託量	
	廃プラスチック類	t															
	がれき類	t	6,475	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	6,475	6,125	0.350	0.000	0.000		
	安定型混合物	t	637,688	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	637,688	0.538	637,150	0.000	0.000		
	管理型混合物	t	4,290	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	4,290	4,290	0.000	0.000	0.000		
	木くず	t	2,587	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	2,587	2,587	0.000	0.000	0.000		
	石綿含有産業廃棄物	t	575,575	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	575,575	21,175	554,400	0.000	0.000		
		t	0.770	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.770	0.000	0.770	0.000	0.000		

令和5年度の目標																
		前年度の産業 廃棄物発生量	①産業廃棄物 排出量	②自己直接 再生利用	③自己直接 埋立処分 又は 海洋投入量	④自己中間 処理量	⑤④のうち 熱回収を 行った量	⑥自己中間 処理残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自己中間 処理した後 再生利用 した量	⑨自己中間 処理後 埋立処分 又は 海洋投入量	⑩直接委託 及び自己処理 後委託処分量	⑪⑩のうち 優良認定処理 業者への処理 委託量	⑫⑩のうち 再生利用 業者への処理 委託量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処理 委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定業 者以外の熱回 取を行う業者 への処理 委託量
	廃プラスチック類	t	6,475	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	6,000	6,000	0,000	0,000	0,000
	がれき類	t	637,688	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	600,000	500,000	100,000	0,000	0,000
	安定型混合物	t	4,290	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	2,000	2,000	0,000	0,000	0,000
	管理型混合物	t	2,587	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	1,000	1,000	0,000	0,000	0,000
	木くず	t	575,575	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	300,000	300,000	0,000	0,000	0,000
	石綿含有産業廃棄物	t	0,770	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
	金属くず	t	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	1,000	0,000	1,000	0,000	0,000

※今後の受注工事の内容により変化する可能性があります。